

まさきだより

令和8年1月29日

海外戦略 ～正木小から海外へ～



岐阜県の社会人サッカーチームFCボンボネーラの選手が1月23日来校し、4年生の子どもたちと一緒にサッカーを楽しみました。その選手の一人は名前をサイモンといい、ナイジェリア出身です。言葉は、英語しか話せないとのことでした。身長が1m90cmの黒人です。子どもたちにとっては、普段の生活の中では見かけない外国人のため、一抹の不安がありました。しかし、授業が始まると、そんな不安はすぐになくなりました。サイモンは、陽気な笑顔で、気軽に子どもたちに接し、すぐに打ち解けていました。子どもたちも積極的に話しかけ、授業が終わっても、一緒にリフティングをするなど、時間を惜しんでいる様子が伺えました。



スリランカのシギリヤ・セントラル・スクールとのオンライン交流を6年生が1月26日、28日に行いました。交流は3年目となり、正木小学校の海外連携の中心的な行事となりつつあります。子どもたちは外国語科の授業で習った会話を、スリランカの子どもたちに伝えることで、「伝わる喜び」「分かる喜び」を感じてほしいと願っています。

さて、小学校から中学校にかけて、外国語(英語)を扱う授業の時間は次のとおりです。

3年生と4年生では、外国語活動を週1時間。年間35時間実施

5年生と6年生では、外国語科を週2時間。年間70時間実施

中学校では外国語科を1年生から3年生まで週4時間。年間140時間実施

中学校の授業で3年間ずっと週4時間の授業があるのは外国語だけです。週5日で4時間の授業があると毎日英語の授業があるように感じます。小学校では週2時間でしたが、中学校に入学すると週4時間の外国語の授業があります。教科書の内容は小学校の教科書の内容より難しくなるため、授業が進むスピードを早く感じる子もいるかもしれません。

学校評価の保護者アンケートでは、英語教育に力を入れてほしいというご意見もいただきました。本校は普通の公立小学校なので、できることに限りはありますが、できる範囲内で英語教育には力を入れてきました。英語が好き、英語の授業が好きという児童を増やすために、次の取組を行いました。外国人に本校に来てもらう取り組みや外国とのオンライン交流を通じて、コミュニケーション能力を育てたいと考えています。

【 令和7年度の海外交流実績 】

スリランカ、インドネシア、アメリカ、イギリス

イングリッシュウィークで市内5人のALTが1週間来校、正木万博を開催 11月

カナダ

県の事業「世界陸上カナダ選手応援」7月～1月、カナダ在住の日本人とカナダ人とオンライン交流

ナイジェリア

県の社会人サッカーチーム「FC ボンボネーラ」のナイジェリア人選手が来校 1月
スリランカ 11月、1月

シギリヤ・セントラル・スクールとオンライン交流

本校では、「いじめのない 楽しい学校」をキャッチフレーズに掲げ、一年間取り組んできました。高学年の教科担任制の授業を取り入れ、学校の仕組みを大きく変えました。5～6年生の外国語の授業は、英語の免許を保有している教科担任が授業を行っています。楽しい学校、楽しい授業、楽しい英語、英語を使うことは楽しい、外国人と話をすることは楽しい、と子どもたちが感じるようにしたいと考えています。FC ボンボネーラの選手とのサッカー教室が終わったあと子どもたちは「サイモンにまた会いたい」と言っていました。来年度も、様々な外国人が本校に来校したり、オンラインで交流したりできるような仕組みを考えたいと思います。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をよろしく申し上げます。

校長 花村伸二